

# 桜梅桃李

埼玉県内 23 自治体で パートナーシップ制度が導入

2022/1/24 号

レインボーさいたまの会 ニュースレター

## 新年のご挨拶

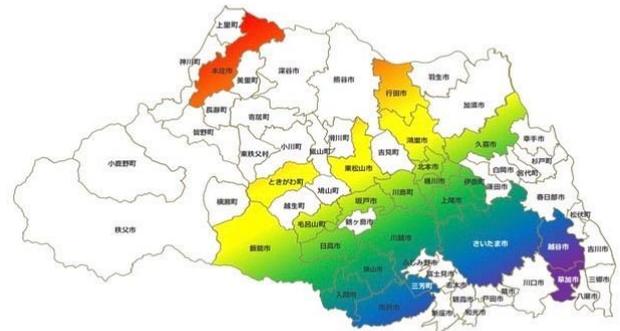
謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新年早々、所沢市、飯能市、日高市で「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」導入の朗報が舞い込んできました。この 3 自治体に加わったことで、埼玉県内では、全国最多の 23 自治体で、「パートナーシップ制度」が施行されることになりました。(2 月 1 日には吉川市でも導入予定！)

「パートナーシップ制度」は、性的マイノリティ施策のシンボルと言われています。自治体が公に同性等のカップルまたは家族を認めることにより、公営住宅の入居をはじめとする公営サービスを受けられること等が期待されています。さらに、制度導入を契機に、学校の制服を戸籍上の性別に限らず選択できるように変更する等、様々な場面で性的マイノリティに対する理解を促進させていく効果をもたらしてきました。

民間企業においては、埼玉りそな銀行や武蔵野銀行で「LGBTQ ローン」が扱われるようにもなりました。2022 年 4 月からは、中小企業に対しても、SOGI(性自認・性的指向)ハラスメントの対応が義務付けられ、社内環境の整備がさらに進むことが期待されます。

このような変化に対して、県内でパートナーシップ制度が広がるスピードに驚く声をよく聞きます。当会の設立時には、県内で制度導入した自治体は一例もありませんでしたが、2020 年には、さいたま市を始めとした 5 自治体で、昨年は鴻巣市のファミリーシップ制度など、実に 15 もの自治体で制度が導入されました。



これまでに 34 自治体に対して制度創設を求めた請願を、54 自治体の首長に要望書を提出してきました。それぞれの自治体議員の皆様には、一般質問を通して、制度実現の後押しをして頂きました。加えて、担当課との意見交換や職員研修会では、制度創設の意義などを幾度となく訴えてきました。当会がこれまで取り組んできた活動の結果だけではなく、これらの経過にも着目して頂けると嬉しく思います。

今年も当会としては、まだパートナーシップ制度が導入されていない基礎自治体への取組みを継続するとともに、埼玉県への働きかけを強化して、誰もがありのまま暮らしていける"彩(いろどり)"の国さいたまを実現していきたいと考えています。

しかしながら、当会は専従者のいないボランティア団体であるため、会への期待と活動範囲が急拡大する中、現体制下では財政面と人員面において取組みを続けていくことが困難な状況に陥っています。

当会の会員は、現在 100 人程度ですが、会の存続と安定した運営のために、来年度(2022 年 4 月～)から新しい会員システムの導入に移行する予定としています。

当会の現状と課題をご理解の上、今年も引き続きのご協力をお願い申し上げます。



レインボーさいたまの会

代表 加藤 岳

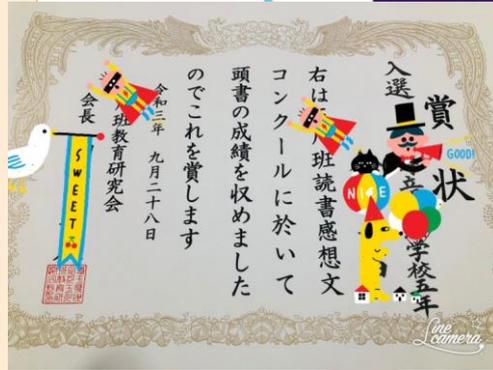
# 埼玉県の小学生の読書感想文

心温まる小学生の読書感想文をご紹介します。

小学校の夏休みの宿題と言ったら、泣きながらやり切った記憶しかないワタシ😭。。それに比べ、SNさんの書き上げた読書感想文は本っっ当に素敵な感想文よっ！！今回は、著者である小野春さんからSNさんにメッセージを頂きました💎

SNさんも小野春さんも今後の活躍に目が離せません。楽しみです！😊

それでは、どうぞ！！👍



「生き方」

五年生 SNさん

私は「母ふたりで家族始めました」という本を読みました。

この本は、小野春さんと言うバイセクシャルの人が、おかあさん二人と子ども三人の家族を作ってくらしていく話です。

私は、この本を読んで、やっぱり人生の生き方は人それぞれだし、その生き方は、自分だけで大きく変わるんだと改めて思いました。小野春さんは、自分の生き方や家族がこの社会の中ではマイノリティーであったり、ガンと戦わなければならなかったり、この本の最後には、まだ同性の人同士だと日本ではけっこうできないので、大事な家族を守って、ふつうのくらしをしていくために、国に同性婚を求めるさいばんにいんどんだり、そんな苦勞があってもあきらめないでその困なんを乗り越えようと、さいぜんをつくっていてすごいなと思いました。そして世の中には色々な人がいます。ゲイの人や、レズビアンの人や、トランスジェンダーの人



達も、一般の人たちと同じ環境で同じ生活が出来るような世界に、一刻も早くなつてほしいです。それに、今はわからないけれど、私も同じような立場になることもあるかもしれないので、その時は小野春さんのようにさいぜんをつくって、その時その時を大事にして、前へ進んでいきたいです。でも、もしつかれたり、つらくなった時は、休むことも大切だと思うので、自分の心も体も大事にしていきたいです。

私はこの本で生き方には色々あるんだと言うことを学びました。みんな人それぞれの悩みや壁にぶつかるけど、そこであきらめてしまうか、それでもまだ前に進んでいくかは、自分次第だと思います。

また、こんな家族が、今はあまり知られていないし、マイノリティーだから、もっと色々な人に知ってもらって、身近にすることがふつうになってほしいです。そして、もし友達がマイノリティーだと言うことでなやんでいたら、相談に乗れるような人になりたいです。



小野春さんより メッセージ

あまりに嬉しいと、言葉にならないものなのだなあ、ということ、このお話をいただく前から噛み締めています。

お子さんが自ら手に取って拙著を読んでくださったこと、そしてそのことを感想文に書いてくださったこと、そして先生がコンクールに出して下さって、それが賞を取られたとのこと（心よりおめでとうございませす！！）、お話を伺ったのはクリスマスの頃で、わたしにとって最高に嬉しいクリスマスプレゼントになりました。

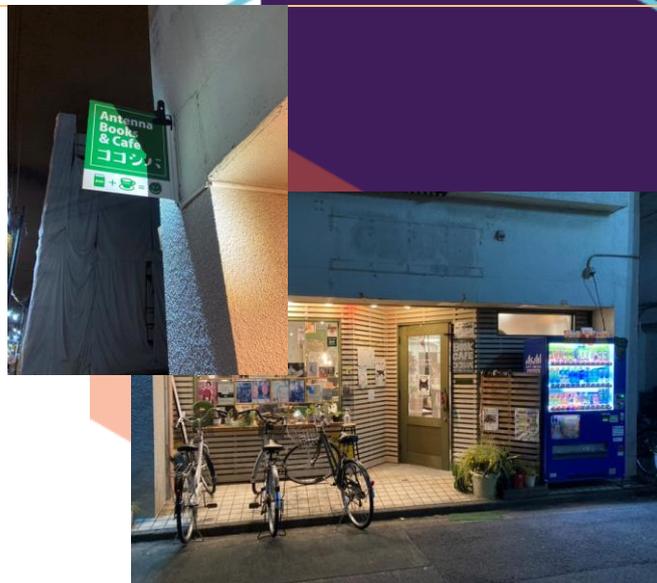
異性カップルではなかったり、シスジェンダーでなかったり、そんな人たちが存在していることを、こんなふうに自然に、当たり前を受け止めてくれるお子さんの存在が、どれほど力をくれるでしょうか。世の中はよりよい方向に変わっていくのだと、とても強く感じることができました。感想文、書いてくださってありがとうございました。宝物にして、時々読み返したいと思います。



撮影：植本 一子氏

## にじシバに行ってみよう！

12月のクリスマス前に  
にじシバへ出掛けて  
きました📖  
和気あいあいと  
仲睦まじい雰囲気  
おしゃべりに夢中  
になりました。。  
みなさんも是非  
参加してみてくださいね♪



### にじシバの座長 K さん からお聞きしました♪

リポーター：こんにちは！今日はよろしく  
お願い致します。蕨駅から歩いて5分  
くらいで着いちゃうなんて便利ですね！早  
速ですが、にじシバの誕生の経緯を教え  
てくださ～い！

Kさん：みなさん、こんにちは！にじシバ  
の座長をしているKです。2018年川  
口市のパートナーシップ制度の請願提出  
の動きの一環として、地域で集まれる場  
として誕生しました！新型コロナ感染拡  
大の影響でお休みせざるを得ず、寂しい  
思いもしましたが、2021年10月から再  
開できてみんなで喜んでるところです。

**【R4.1.24 現在 まん延等防止措置の  
影響で開催見送中。再開につい  
ては、レインボーさいたまの会 Twitter に  
てお知らせ致します】**

リポーター：大変な状況ですね。コロナ  
めえ…。こうして対面して交流ができる  
ってやっぱりあったかいですね🍀参加人  
数はどれくらいなのかなあ。

Kさん：毎月第2・4 金曜 19:00～  
21:00 に「ここシバ」で定期的に集ま  
っているよ。人数は大体5～15名くらい  
かなあ。ジェンダー・セクシュアリティを問わ  
ず参加してくれているんだ。

リポーター：今日もたくさん集まっていたも  
んね！おしゃべりをして交流を深めてい  
って感じが素敵だなあ。クリスマス前って  
ことでプレゼント交換に急遽参加しちゃった  
(笑)。高級なハムが当たった！！

Kさん：アハハ。おいそうなハムが当た  
って良かったですね！そうそう、ちゃんと  
ルールもあるんだよ。みんなで楽しく過ごす  
ためにはちゃんとルールがないとね！

- ① 基本は自分の話をする。自分が経  
験したこと、自分が考えていることを  
話すようにしよう。
- ② 他人の話を否定しないこと。自分の  
意見を押し付けないようにしよう。
- ③ 話したくないことは、話さなくて大丈  
夫です。
- ④ 嫌なことは嫌と言おう。  
自己紹介では、自分の呼ばれたい名前  
を伝えてください。

リポーター：ちゃんとルールを守って楽しく  
参加していきたいです！最後にレインボ  
ーさいたまの会の会員さんに向けて一言  
お願いします！

Kさん：にじシバでは、参加の敷居を下  
げることが一番だと思っています。交流の  
機会を持続して、にじシバの空間がこれ  
からも地域を問わず、多くの方の集いの  
場となって欲しいと考えています。皆さん  
の参加を心よりお待ちしております！あ  
りがとうございました！！

リポーター：本日はお忙しい中、ありが  
うございました！にじシバの情報につい  
ては、レインボーさいたまの会の公式  
Twitter から随時アップしていきますの  
でご参考頂けたらと思いま～す！



### 編集後記

2022年寅年も🍀も勢いつけていきたいですね！今年もどうぞ皆様直しく  
お願い申し上げます。埼玉県の地図がすべてレインボーに染まるのはいつかな。。